



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故等現場診断」を実施（令和2年12月中）

沼津地区、細江地区の各安全運転管理協会では、本年12月中に、各地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、管轄警察署が実施した「交通死亡事故現場診断」に参加し、交通事故防止対策等について協議しました。

【沼津地区】

12月3日（木）、沼津警察署、沼津市役所、県土木事務所、安協沼津地区支部等関係団体と沼津地区安全運転管理協会から事務局長が参加して計12人により
11月27日（金）の夕方、沼津市西浦足保地先の県道で発生した交通死亡事故（軽四貨物車が横転して電柱に衝突した単独事故、運転者の23歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、カーブの連続する山間の道路で、事故車両の進行方向から緩い右カーブとなっている場所で発生しており、現場診断及び検討会を実施した結果

- 山間の道路はカーブが多く、スピードを控えめにするための減速マークや道路はみ出しを知らせるドットライン等の道路標示を設置する。
- 現場診断結果について、会員事業所へ伝達して指導啓発を実施するなど、交通安全意識の向上と交通事故防止対策を推進する。

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【参加者により事故現場を確認】



【再発防止対策の検討会を実施】

【細江地区】

12月7日(月)、細江警察署、浜松市北区役所、地元自治会、安協細江地区支部等関係団体と細江地区安全運転管理協会から会長と本年度安全運転管理推進事業所である(株)スミテックの安全運転管理者等3人が参加して合計25人により

11月21日(土)午後、浜松市北区新都田地先の市道で発生した交通死亡事故(軽四乗用車と普通乗用車が正面衝突した事故、軽四乗用車の83歳男性が死亡)の交通死亡事故について事故現場診断を行いました。

この事故現場は片側1車線の緩くカーブした道路で、現場診断及び事故防止対策検討会を実施した結果、

- 現場は、上り坂の頂上付近がカーブしており、対向車が見えにくい状況であるため、「この先カーブあり」等の注意看板を設置する。
- 現場付近は小学校の通学路で、カーブ道路における逸脱防止のためガードレールの設置を検討する。

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【参加者全員で亡くなられた方に黙とう】



【交通課員から事故概要の説明】



【参加者による現場確認】



【事故防止対策検討会を実施】